

研究指導の概要

■経営学学位プログラム

【課程：博士前期課程】

| 学年 | 学期 モジュール | 研究内容及び指導方法等 | |
|-------------|-------------|-------------|---|
| 1 年 次 | 春 | A | 「経営システム科学研究・Ⅰ-Ⅰ」を履修し、学術研究とビジネス実務的な考え方の違い、サーベイの方法、専門外の聴衆に対する分かり易いプレゼンテーションなど、研究活動を遂行するうえで必須となる研究方法の基礎を学ぶ。さらに、学生と教員のディスカッションによって各自の研究計画を学術的に深化させるとともに、バックグラウンドの異なる聴衆からのコメントによって多面的に計画の再検討を行う。 |
| | | B | |
| | | C | 主指導教員を決定し、研究計画および履修計画立案による今後の研究遂行の基礎を構築する。「経営システム科学研究・Ⅰ-Ⅱ」を履修し、主指導教員指導の下で、各自の研究企画・作業を具体化する。 |
| | 秋 | A | |
| | | B | 「経営システム科学研究Ⅰ-Ⅲ」を履修し、主指導教員指導の下で、文献の調査・研究方法などを習得する。また、修士論文研究の構想を練り、既存の関連研究の調査や必要な情報収集などを中心に研究基盤を整え、2年次春Aの「概要発表」に向けた準備を行う。 |
| | | C | |
| 2 年 次 | 春 | A | 「経営システム科学研究・Ⅱ-Ⅰ」を履修し、主指導教員指導の下、研究計画に合わせた修士論文の草稿の作成方法を習得する。修士論文研究の進捗と今後の計画を「概要発表」で報告し、その内容に基づき、各学生が研究を進める上で適切な副指導教員2名を決定する。 |
| | | B | |
| | | C | 主指導教員、副指導教員の指導の下、修士論文研究の骨格と進捗状況を「中間発表」で報告する。その内容に基づき、指導教員は、研究内容を充実させるために何をどのように追加すればよいかなど指導する。「経営システム科学研究・Ⅱ-Ⅱ」を履修し、それまでの修士論文研究で得られた結果の整理と考察の方法を習得する。 |
| | 秋 | A | |
| | | B | 「経営システム科学研究・Ⅱ-Ⅲ」を履修し、修士論文の最終原稿の完成に向けて精度の向上、修士論文として適切な文章表現や最終審査に臨むためのプレゼンテーション方法を習得する。ドラフト発表において修士論文研究の研究成果と修士論文の作成状況を報告し、主指導教員、副指導教員指導の下で、最終発表へ向けた改善点を抽出する。改善点を修正した上で最終発表の準備を進め、修士論文を完成させる。 |
| | | C | |